

No.  
95

書 左右津安輝子



# 海も樹も、 何事もなかつたように営み続ける。 やがて、人も歩み始める。

代表理事 牧口 一三  
まさぐち いちじ

昨年の初めから新型コロナ騒動が起り、いま（4・20現在）では「変異ウイルスが大暴れで第四波が……」と感染者が増え、大阪がまっ先に1日千人を超えて、医療崩壊が起きているとのこと。ボクは20年前までタバコ1日3箱だったので肺の臓器をとつ々に壊し、感染するとイチコロの身。ゆえにコロナとは適切な距離で付き合い願いたいが距離感がつかめない。「コロナとたたかう」と言われるが、自然現象に似る相手への対応は違うと思う。「共生」とも言うが、命を狙う相手なのでカッコ良すぎる。まあ「コロナに負けない」ってところ。このウイルス、変異を繰り返して勢力を広げようと躍起に見える。

ところが厳密には「いきものではない」らしい。自身では細胞分裂できなくて人間などに寄生して増殖するという。ごくごく小さなウイルス（直径1ミリの1万分の1ほど）が、直径およそ1万3千kmの地球

## INDEX

- 01** 海も樹も、何事もなかつたように営み続ける。  
やがて、人も歩み始める。
- 03** 総会報告
- 04** 東日本大震災から10年
- 07** ゆめ風ネットからこんにちは 第14回
- 08** リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十八回
- 10** カンパをいただいた団体／事務局のうごき
- 11** 会計報告
- 12** 各地からの風だより

の上で暮らす約77億の人間を右往左往させている不思議。いま地球上では、ミャンマーなどあちこちで民主主義の危機迫る状態だというのに。

いま地球上は大問題が山積している……だがボクには解説すらできない政治がらみ。ここでは本誌94号に続いて東北の人たちの、津波を実体験されて思わず発せられた声の中から、ボクの脳裏に焼きついた言葉に想いを巡らせみたい。数年前のことだった。東日本大震災関連のテレビ番組（ラジオだつたかも）を何となく聴いていて、まだ20～30代と思える青年の発言で、思わず聞き入ってしまった。

「あの時、オヤジを呑み込んだ津波がとても憎い！ だけど、どう考えても津波を憎み切れないんだ。なぜって、小さい頃から海はすぐ傍らにあって……海がオヤジやオフクロみたいにボクを育てくれた気がするんだ、やっぱり！ 海が無い暮らしなんて考えられない。この海もボクの血となり肉になつてゐる。津波に化けてオヤジを奪つた海だけ、いまは知らん顔して嘘の

ように静かに波打つて。思わず笑つてしまふんだ」と語つたのだ。

つい先日まで、わがアパートにほど近い大阪城公園の桜は満開をすぎ、落ちた花弁で園内の道という道を淡いピンクに染めていた。いまはツツジの紅や桃色や白の花びらが、コロナ騒動など知つてから知らずか咲き誇つて。まもなくアジサイの季節。桜の頃、昨年も今年もお花見の宴は自粛された。コロナ騒動がなければ、あさ早くからビニールの敷物を抱えた新入社員らしき若者が、9時間ほど後に展開される宴会に備えて陣取り合戦中だったはず。それほど賑わう場所なのだ。この辺りを散歩するボクは「ことしも始まつたな」と下戸なのにウキウキする。いまは別世界のごとく人はまばら、それでも少しあは広々した公園の空氣ぐらいは吸いたいと思われたのか、人出は昨年よりもやや多め、コロナ慣れなのかな？

思わず「散歩」なんて書いたが、じつは電動車いすに乗るまで散歩を知らなかつた。だけど今は「自粛、自粛」に耐え切れず、外堀一周コースをよく

散策する。電動車いすでゆっくり1時間チョイの道程。春めいて身体が散歩に出ようとうごめき出す。だけど、樹々や花々に囲まれた道は、つい医療崩壊の現実を忘れさせる。花たちは騒動など知らん顔……

松葉づえで60才まで、それからの20数年は手動式→電動式車いすで人生を歩いてきた。若かつた頃は松葉づえを歩いてきた。若かつた頃は松葉づえの辛さをあまり気にしなかつた。でも、思えば近道ばかり歩いていたようだ。電動車いすなら疲れない。散歩に車いすは最適な乗り物に思える。

病院通いと散歩が日課になつて、齡を重ねるのも悪くないなあ……と、コロナ漬けの毎日を過ごしつつ、改めて「自然」のふところの深さを想う。若者を父母のごとく育ててくれた海、そして花見宴会とコロナ自粛などは深くつながつてゐるようで自然界のほうは知らん顔のようにも見える。そんな折、A紙朝刊のコラムに「つらい記憶もある。それでも楽しい思い出が時を経て重みを増すから、たぶん人は歩いていける」とあつた。

## 総会報告

理事 八幡 隆司

3月27日（土）にゆめ風基金の定時総会（第20回）が行われました。今回はコロナ禍のため、初めてZOOM（WEB）を利用しての会議となりました。初参加やお久しぶりに参加してくださった方もおられ、委任状も含め51名（正会員総数70名）となり、過去最大の参加者数となりました。議案としては、いつも通り、昨年度の事業報告、会計報告と今年度の事業計画、活動予算などがあり、承認されました。昨年は新型コロナの影響で被災地に赴くこともできず、講演等も激減した年となりました。令和2年7月豪雨では地元の方とやり取りをし、1,250万円余りの支援金を届けることができました。また定款改正を行い理事定数増員及び2名の新理事の就任も可決されました。新たな理事は内田瞳さん、石橋宏昭さんのお二人です。

今回は参加者も多かったことから、総会後の意見交換に時間を割き、各地の状況などを話していただきました。ZOOMとはいえ、顔を見ながらの報告はとてもうれしく、頬もしくも思いました。今後はゆめ風ネットだけでなく、ゆめ風応援団も増やしていく、各県でネットワークをつくっていこうという話も出ました。

新型コロナが終わっても、会場参加とWEBでの参加者を集めた総会が定着すると感じました。

### 新理事から一言



内田 瞳

うちだ ひとみ

兵庫県神戸市で生まれ、先天性骨形成不全症としてのびのび育つ。中学一年生の時に阪神・淡路大震災に遭い、神戸市東灘区の自宅で震度7を経験する。大学から大阪で一人暮らしを始め、現在は介助者と共に大阪市住之江区で自立生活を謳歌している。NPO法人自立生活夢宙センターの当事者スタッフとして11年目。センター内で防災担当をし、住之江の地域交流をすすめ、楽しみながらまちの防災力を高めていくことに力を入れている。2020年から私たち重度障害者の自立生活も新型コロナウイルスによって脅かされているが、それでもあきらめたくない。この緊急事態においてもピンチをチャンスに変えて、仲間のみんなと命や暮らしをまもりあい、工夫しながら過ごしていきたい！



石橋 宏昭

いしばし ひろあき

阪神淡路大震災の時に全国各地から支援を頂きました。被災してわかった事は、近所付き合いの大切さを感じました。仮設住宅の使いにくさは言うまでもない事です。私の場合は戻る自宅がないため、住民票の住所をポートアイランド（人工島）の仮設住宅に変えたのですが、駐禁除外証の期限切れに近づいているのに気が付き県警本部に切替に行くと、仮設住宅内は駐車場とは認められず、仮設住宅管理部署と県警を何往復かして認められました。非日常の際のやり取りを踏まえ災害時、今後皆さんと一緒にやって行きたいとおもいます。よろしくお願ひします。



です。

先月、事故を起こした福島第一原発に入る

機会がありました。現場は津波の被害もその

ままで、多くの作業員が防護服を着たまま、線量計を気にしながら作業を進めていました。事故から10年経つた今でもこの現状では、

これから30年～40年かかるだろうと言われている廃炉に向けた作業が、いかに難しいかが想像出来ました。そして原発事故の重大さを改めて知った思いがしました。

来年度、その原発から10キロしか離れてないふるさと浪江町で小規模ですがコーヒータイムを開しようと計画しています。そして二本松市でのコーヒータイムもこれから10年、20年と続くよう、世代交代を急いでいます。

震災さえなかつたらと思うことも沢山ありました。しかし新たな地域で活動が出来たことで得られたことも沢山ありました。これらも障害があつても地域の一員として活躍できるような環境つくりを進めていきたいと思っていますので、コーヒータイムの頑張りをこれからも見守っていてください。

(令和3年1月14日)

## 10年経つて

宮城県石巻市

NPO法人障がい者ベース石巻によつきり団  
箕田 朗子みた ろうこ

2011年の秋に、東日本大震災救援本部のご支援を基に「被災地障がい者センター石巻」ができました。県外からのボランティアと地元の障がい者2名が中心になって始まりました。活動に、私は地元在住のスタッフとして加わりました。

あれから約10年。その間に変わったことなどを思いつくままに並べてみます。

- ▼ 団体が「被災地障がい者センター石巻」から「NPO法人障がい者ベース石巻によつきり団」になりました。メンバー構成も変わり、事務所は2020年7月に退去。現在は代表である私の自宅を連絡先とし、会合などには公共施設を利用しています。
- ▼ 「被災地障がい者センター石巻」に集まっていた障がい児の多くは石巻支援学校に通う

中学生や高校生でした。彼らは現在成人となり、それぞれ市内の施設で働いています。

▼石巻の風景は大きく変わりました。道路や

橋、堤防、住宅、公共施設などが整備されました。現在もまだ道路や橋の建設工事が続いている。

時と共にいろいろなことが変わっています（私も年を取りました）。ただ、「誰もが暮らしづらい石巻」への願いは団体として個人として今後も持ち続けていきたいと思っています。

## 東日本大震災を経験し今あらためて思うこと

岩手県一関市

NPO法人響生

杉山 浩

私たちNPO法人響生は、岩手県一関市千厩町内で、障害児支援や子育て支援等の活動を行っています。東日本大震災では施設内外装の破損や備品の損壊などの被害があり、

給湯設備の破損によりお湯が使えない状態が長く続いたため、16日間活動休止を余儀なくされました。

東日本大震災を経験し今あらためて感じることは、自分たちにできることを為しそれを継続していこうという思いです。震災後数か月経過した後に被災地支援として自分たちができることを考えた末、陸前高田にある障害児支援と子育て支援の場所に音楽と美術の遊びを提供するため9か月間に17回訪問しました。また、重症心身障害児とご家族のためのプログラムを気仙沼市内等で行いました。

災害に対する警戒を怠らないということもそうです。災害規程の見直しや、発電機を購入し備蓄品の追加等を行いました。また、現在はコロナ禍の上に大雪と厳しい寒さです。例年とは違う感染症対策をしながら、屋根からの雪や氷柱の落下、路面凍結による転倒防止対策などなど、大小問わずできることを行っています。

東日本大震災から間もなく10年になろうとしています。震災を経験することで得たことを忘れずに、これからも日々の活動に活かしてこうと思っています。

# 宮崎

## 地域との繋がり

3月27日、ゆめ風基金の総会がNOCOMで開催され、初めて参加させて頂きました。自己紹介で八幡さんから「宮崎は永山さんはずが若い女性になつて」と前置きがあり、自己紹介をしました。総会後、永山さんにゆめ風を知ったきっかけ、いつからネットみやざきができたのか話を聞きました。宮崎で2005年に起きた台風14号のときに八幡さんが支援に駆けつけて下さり、宮崎で災害が起きたときの災害拠点を作るためにネットみやざきを立ち上げたと聞きました。

現在私は、ヤッドで活動して4年目になります。ヤッドの活動と共に自立支援協議会の災害について協議する部会で月1回余議に参加したり、地域の地区社協の理事になり、障害当事者の立場から災害についての勉強会や研修会等で発信をしています。

自立支援協議会に入る前までは、「災害が起きたら助からないだろうな」と命を諦めていました。ですが、協議会で障害者（要配慮者）の災害対策について協議する中で、自助・共助・公助という言葉や自治会や民生委員の役割等、様々なことを知る中で地域との繋がりの大切さを感じるようになりました。コロナ禍になり、より地域との繋がりが希薄になる中どうすれば誰も取り残さないようにできるか、皆で考え、様々な視点からの知識や知恵を出し合つて、いつ起きるかわからない災害への備えをしていくとの必要性を感じます。

障害者自立応援センター YAH!DO (ヤッド) みやざき 森 愛実



# ゆめ風ネットかぶくにちは



ゆめ風ネットしまね 太田 明夫

**つながる・つなぐ・つながり**

熊本の大震災から5年、じつは熊本と島根は今もずっとつながっています。くまもと障害者労働センターの代表・くわせんじい倉田哲也さんと島根県各地と直結。そしていつも、震災直後、チーで訪問したある男性です。その彼について少し…。震災後、時々電話がかかることになりました。いろいろ思い悩んで、焦りが募ると電話。何を話すでもない。倉田さんはどんな中身で?と思ふような話題です。その辛さを吐き出す「器」みたいな立場とも言えぬでしょ?か。

そこに「ロナです。彼を悩ませる問題がウワツと出てきた。私は私で、そのロナでワモード会議の日々でした。ふと思いついて、彼にワモードオ通話を提案しました。これまで声だけだった相手と、顔を見ながら話す。彼にとってはわづらう高かつたはずのハードルも、意外にしない。声も大きくなり、顔を上げ視線を合わせて話せるようになります。

そんな時、島根では対処できない事態が生じ、「ロナ禍の中、家庭訪問を繰り返しました。と云つても、これが今回一番伝えたい「ワモード家庭訪問」。

どうしても複数の行政の力が必要でした。島根の私が電話口で説明しても「個人情報保護」の高い壁、「とにかく一度家庭訪問を」と説得して、その訪問時に私がリモートで立ち会つ。訪問者への事情説明で彼が困つたら助言します。「つまづくところを…」と驚くことがあります。これは使える!と思つました。直接行けなくとも、顔を見て様子を聞けます。行政と「つなぐ」こともできます。コロナ禍の中での、小さな発見でした。

# 島根

リレー・エッセイ 災害と障害者 第六十八回

## ぼくの願い

須賀 智哉



1985年生まれ。特定非営利活動法人自立生活センター松山理事。長い期間を経て末期腎不全(原因不明)となり、昨年9月に腎移植を受ける。その後時は退院するものの感染症にかかり現在入院中。自分を、家族を、友人を、仲間を、目の前にいる人を大切にしたいところから思えるようになった今日この頃。

### 災害ってなんだろう

災害って聽くだけで、なんだか恐ろしい。実際、たしかにとても恐ろしいものだ。例えば「自然災害」がある。けれど、海も山も大地も、自然の営みの中の現象として、人間がクシャミをするみたく、地震などを起こしているに過ぎない。地球も生きている。自然とともに、人間がどう在るかをぼくは大切にしたい。

「人災」と呼ばれる原発事故は、それも自然の一部である人間が作り出したもの。自分で蒔いた種を自分で刈り取つていこうように、自分事として、どうしていけば良いか、これからもずっと、問い合わせていきたい。

「戦争」なんて、言葉にするだけで恐ろしい。生臭い血の匂いがする。けれど、そう考えたらなんだか、どこか遠い国で起きていることのようにも思える。でも実は、戦争はぼくのところの中でも起きている。何が正しいかなんて、そんなものは存在しない。ケンカしてるぼくとぼくの言い分を、ぼく自身が大切に受け止めると、ここが平和になる。

### ものごとの本質

感染症は改善しつつあるが、移植した腎臓が思わしくなく、今後どうなるかの見通しはわからない。気づけば昨年9月から4月現在までのほとんどを、この病院で過ごしているよう思う。ここは海も山も近い。今の季節は潮干狩りをしている人や、鳥たちはクチバシに枝を咥えて大空を舞いつつ巣作りをしている。さくらは舞い散り、勢いよく緑が芽吹いている。足元を見れば、たんぽぽや野に咲くすみれの花。

この空や海たちを眺めていたら、ぜんぶは循環していて、そこに障害をもつ自分も当たり前にいるだけのような感覚になる。そこに良いも悪いも存在しない。色々なことがあるけれど

「コロナ禍」も災害と言われている。それだけ全世界で大変なことが起きている。けれど、コロナウイルスも一生懸命生きているのだと思う。災いとどちらえるか、それを何かのメッセージとして受け止め、気づけるかどうかでいぶん生き方も変わってくるようと思える。

### 障害ってなんだろう

「災害」と「障害」って、すこし似ている気がする。災害も障害も、人間の目線で作り出した言葉だからかもしれない。現象として起きている出来事に、本当はことばも意味も必要ないのかもしれない。

ぼくの身体に起きた現象は、腎臓が機能しなくなつたということ。それで、昨年9月に、父がドナーとなり、生体腎移植手術をするに至つた。父は最初から貫して、移植することに一切の迷いもなく、呼吸するかのように、ぼくに腎臓を提供するみちを選んだ。ぼくは最後の最後まで、移植手術を受けることを自分で決めることができなかつた。いのちの重みは、計り知れないものだから。ただ、移植しようがしまいが、その苦しみの過程の中で、知らぬ間に両親からの無上の愛にぼくは満たされ、きょうだいの絆は深まつていつた。それ以降、すべてがしあわせと思えるようになつた。どのような状態になつたとしても、自分を愛して、生かされているこのいのちを大切にしようと思えた。

### そのまんまでいく

だからといって何にも悟れてもいい。相変わらず弱くて脆弱でカッコ悪くて、不安だし情けなくつて、言葉にできない魂の叫びみたいなものを、ひしひしと感じている。それでいい。弱さを受け入れる勇気をもつことができたから。

自分自身だけでなく、ギスギスしたこの社会に対しても感じている。その葛藤に対しても、答えを出そうとはしていない。ありのままを受け入れ、あきらめずに向き合い続けていくことを大切にしている。

### ゆめ風の想い、みんなに届け

無力であるからこそ、人と人とのつながりの尊さに気づき、感謝のきもちでいっぱいになる。たくさんの犠牲や涙の結晶とともに、それらがカタチとなつてこの世に産声を上げたのが、ゆめ風基金。ぼくはそう思つていて。

起こる出来事のひとつひとつを、次なる一歩の過程とし、ぼくらにできることを、できるときに行い、みんなにとつて豊かな未来へつなげていく。それが、ぼくがこうして生かされている意味なのだと思う。

ど、災害も障害も、それらの現象をどうとらえていくか。すべてはぼくの中にあって、ぼくはすべての中の一部でもある。

**カンパをいただいた団体****2020/12-2021/02**

お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザーやイベントで集めてくださったりしています。  
本当にありがとうございます。(もし掲載漏れがありましたらどうかお許しください)

**[2020]**

- 12/7 やました甲乙鍼灸院(大阪市中央区)
- 12/8 得雄寺(長崎県南松浦郡)  
久保田潤一郎クリニック(豊島区)
- 12/9 北巣本保育園(門真市)
- 12/10 出発のなかまの会(生野区)
- 12/11 ベル・カテナ(越谷市)、NTP事業所(東淀川区)
- 12/15 でんでん虫の会(加東市)  
カトリック枚方教会・社会活動委員会(枚方市)
- 12/16, 1/15, 2/16 健康アメニティたのし(新宿区)
- 12/17 ケーエム・ジェイ(郡山市)  
日本聖公会大阪教区婦人会(阿倍野区)  
風のファーム(佐野市)  
豊中友の会(豊中市)
- 12/22 AJU自立の家(名古屋市)  
清心中学校・清心女子高等学校(倉敷市)
- 12/23 介護福祉センター北大阪(摂津市)
- 12/25 かがやき工房(旭川市))

**[2021]**

- 1/6 ビー・カンパニー(岐阜市)
- 1/7 ネットきくがわ(菊川市)
- 1/8 大阪聖愛教会(天王寺区)
- 1/13 聖愛園(東淀川区)
- 1/18 聖バルナバ病院礼拝堂(天王寺区)
- 1/18, 2/18 ホームベース(枚方市)  
自立生活センター立川(立川市)
- 1/21 豊能障害者労働センター(箕面市)
- 1/27 フジテクノ(川越市)
- 2/2 作業所こまどり(今治市)
- 2/8 作業所 ゆう(三田市)
- 2/11 府中・市民交流会(府中市)
- 2/16 合同会社ABC研究所(北九州市)
- 2/18 かまくら福祉・教育ネット(鎌倉市)
- 2/22 認定こども園プール幼稚園(東住吉区)

**事務局の動き**

2021年1月から3月の動きを一部ご紹介します。

- 1/11 三重県社会福祉士会講演
- 1/15 ゆめごよみ臨時号・領収書発送  
共同通信取材
- 1/25 大阪急性期・総合医療センター講演
- 2/21 「webで振り返るこの10年」イベント
- 2/25 理事会
- 3/10, 11 ゆめごよみ94号発送作業
- 3/10~12 阿部、東北訪問
- 3/17 OSN(大阪災害ネットワーク)会議
- 3/21 災害福祉研究学会参加
- 3/25 JICA(国際協力機構)中学生プロジェクト取材
- 3/27 20回定期総会、理事会

**東北訪問記**

事務局 阿部 俊介

今年で東日本大震災から10年になるので地元、宮城县を訪れました。

3月11日には女川町と大川小学校に。午後2時46分、石巻日和山で黙禱。

夕方には「障がい者ベース石巻によっきり団」の箕田さんたちと会い、石巻の現状報告をしてもらいました。翌日は、南三陸方面をまわり、防災庁舎で合掌。このあと、「奏海の杜」にお邪魔して、太齋さんにお話を伺いました。

今回、一年ぶりに地元石巻市に帰りましたが、町や道が初めて来たように思えるくらいの変わり方でした、住み慣れた所なのにナビを見たり、人に聞かないと目的地に行けないのが情けなかったです。復興はありがたいですが、変わりすぎた石巻市を見て正直がっかりしました。復興=壊すと言うことなのかなと私的には思いました。今後は、誰でも住みやすい石巻市になってくれることを強く願います。

NPO法人 ゆめ風基金

## 会計報告

ただいまの基金額  
300,064,846円貸付金の残高  
16,808,000円  
これまでの救援金・救援活動費総額  
563,786,725円  
総会員数  
14,777人

|       |      | 前回報告残高   | この3ヶ月の動き<br>1月から3月まで | 今回報告残高<br>2021年3月現在 |
|-------|------|----------|----------------------|---------------------|
| 収支計算書 | 収入の部 | 会費収入     | 24,088,217           | 24,088,217          |
|       |      | 寄付金収入    | 3,281,014            | 3,281,014           |
|       |      | 臨時寄付金収入  | 348,000              | 348,000             |
|       |      | 助成金収入    | 147,420              | 147,420             |
|       |      | 事業収入     | 75,354               | 75,354              |
|       |      | 雑収入      | 73,909               | 73,909              |
|       |      | 貸付金返済収入  | 0                    | 0                   |
|       |      | 保証金返済収入  | 0                    | 0                   |
|       |      | 預り金収入    | 360,763              | 360,763             |
|       |      | 未収入金収入   | 0                    | 0                   |
|       |      | 未払金収入    | 0                    | 0                   |
|       |      | 合計       | 28,374,677           | 28,374,677          |
|       | 支出の部 | 救援金支出    | 730,800              | 730,800             |
|       |      | 救援活動支出   | 0                    | 0                   |
|       |      | 貸付金支出    | 0                    | 0                   |
|       |      | 基金拡大活動支出 | 3,300                | 3,300               |
|       |      | 防災活動事業支出 | 157,395              | 157,395             |
|       |      | 広報活動事業支出 | 250,585              | 250,585             |
|       |      | その他事業支出  | 264,960              | 264,960             |
|       |      | 人件費支出    | 2,434,032            | 2,434,032           |
|       |      | その他事務費支出 | 1,389,208            | 1,389,208           |
|       |      | 預り金支出    | 651,128              | 651,128             |
|       |      | 未払金支出    | 283,103              | 283,103             |
|       |      | 固定資産購入支出 | 0                    | 0                   |
|       |      | 保証金支出    | 0                    | 0                   |
|       |      | 合計       | 6,164,511            | 6,164,511           |
|       |      | 差引:収支差額  | 22,210,166           | 22,210,166          |
| 貸借対照表 | 資産の部 | 基金特別会計預金 | 261,654,823          | 283,256,846         |
|       |      | 一般会計現金預金 | 930,823              | 1,538,966           |
|       |      | [現金預金合計] | 262,585,646          | 284,795,812         |
|       |      | 障害者貸付金   | 16,808,000           | 16,808,000          |
|       |      | 有形固定資産   | 1,226,013            | 1,226,013           |
|       |      | その他の資産   | 1,245,826            | 1,245,826           |
|       |      | 合計       | 281,865,485          | 304,075,651         |
|       | 負債の部 | 未払金      | 213,103              | △ 213,103           |
|       |      | 預り金      | 278,336              | △ 290,365           |
|       |      | その他の負債   | 70,400               | △ 70,000            |
|       |      | 合計       | 562,239              | △ 573,468           |
|       |      | 差引:正味財産  | 281,303,646          | 22,783,634          |
|       |      |          |                      | 304,087,280         |

脚注 1. 今回は1月から3月までの3ヶ月間の報告です。

2. 救援金は1件の支払いがありました。(岩手県大船渡市NPO法人123障害者が農作業しやすくするための農機具購入費として)

3. その他は特に大きい変動はありません。

災害別の救援金総額 以前に他の災害でお届けした救援金はゆめ風WEBサイトとブログに掲載しています

東日本大震災 340,634,224円 2016年熊本地震 55,598,387円 2018年西日本豪雨 45,164,095円

令和2年7月豪雨 5,688,187円

# そよ風、つねじ風、六甲ねむり／各地からの風だより／ 2020.12 - 2021.2

◆日本中の作業所がコロナに活動を阻まれ支援下さる方も利用者もストレスいっぱい。早く収束しますように(尼崎市)◆よいお年をお迎え下さい。正しい生き方のできる人になりたいですね(浜松市)◆日常の看護、介護、保育スタッフの処遇軽視がこの国の、国民の有権者の責任です(杉並区)◆基金が有効に使われてするのがわかり嬉しさです。たよりを見て希望の光を感じました(横浜市)◆No.93いたきました。皆様のパワーのすばらしさに、いつも圧倒されています(北区)◆世の中とつながっている証明のつもりで送ります(江東区)◆息子は脳性マヒです。「コロナ禍親子共々がんばっています。よろしく」(新宿区)◆80才になりましたが少しですが入金します(前橋市)◆生き辛さが加速する世の中、助け合い思いやる気持ちだけは失いたくのです(船橋市)◆「コロナ禍にあっても自然災害は容赦なく起きてること」を思い出ぐらせました。避難所訓練は大切だと思います(宝塚市)◆マスクの下は笑顔でと思っています(若林区)◆「各地かの風だより」いろんな地域メッセージを拝見して皆さんのように私も参加します(湖南市)◆温かいお雑煮が食べれますように(小松市)◆コロナ収まりません。近年上を向いて歩こうの歌がよく流れ永さんのこと思い出しています!最近顔をアーチ針ホチキスされました。針は取れて少し痛いですが救急車も呼ばずに誰にも言わず朝叱られた(小金井市)◆今年も年末のバイトで少し稼ぎました。心ばかり振込させて頂きます(杉並区)◆「コロナ禍の中、災害時や障害者への支援大変と思いますが宜しくお願い致します(さいたま市)◆これからも信頼に値する団体でありますよう希望します(藤沢市)◆「命」を用いてこじらる限り応援します(静岡県)

◆の祈りを込めて送りたい先が増えるばかりです。お許しを(兵庫県)◆怒りとか虚しかとかの言葉を超えた皆様の活動。平常心で続けるバイタコニーいつも励まされています。どうぞ今年もよろしくお願いします(松江市)◆辛抱の時。今しがむく続くようですが呼吸して空を見上げて足元をしっかりと見て(滋賀県)◆ひつむながら年間の領収証ありがとうござります。「臨時号」各地の皆様のふんばりが手にかかるように掌握できました。文字も大きくて読みやすかったです(清瀬市)◆2・13発生した地震の被災者支援に当たって下さい(佐久市)◆今の困難な時に、永六輔さんだつたら…と時々思います(千葉市)◆青田由幸さん「10年目」のふくしま、牧口二さん「命のランク分け」はつとせられる名文でした。ありがとうございます(大阪府)◆カード決済ができるもつとじぞういます(大阪府)◆カード決済ができるもつと送金できるのですが、少額ですみません。事務局の方々ごくわずかまで。よろしく(上川郡)◆私は精神障害者ですが、毎日五時間だけ働いています。少しですが送ります(香川県)◆昨年亡くなった次男のビン預金の中身です。夏に石狩海岸で行われたイベントに行く予定でした(札幌市)◆会報を読むときは、パート先の障害者の方々や知人たちのことを考えていました。そして全国の仲間たちのことも(横浜市)◆タイと日本の障がいのある若者たちが作った「ひまわりコースター」の売り上げに応じて寄付をします(佐賀県)◆東日本大震災から10年。被災された方々の生活は元に戻ったのか気になります(大阪市)◆小銭を貯めた御老人から『どなたかの為にどうぞ』とお預かりしたものです(入間市)◆当方86才になりました。生きている限り応援します(静岡県)

ゆめ風ブログ (<https://yumekazek.com/blog/>) にも掲載しています

**編集後記** ▶新入職員の阿部さんが故郷・石巻など被災地を回ってきました。あまりの変わりように自宅跡地さえわからなかったそうです。海岸線に建つコンクリートの防潮堤は高さ8m以上。全く海が見えません。海と生きてきた方はこの「壁」をどう感じているのか? この防潮堤は役立つか? 今なお仮設住宅に住む方をなんとかできないのか? 様々な疑問が頭を駆け巡ったそうです。(長)

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟 024-232-7522 三条 0256-34-2448 JDS(東京) 03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568 静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 本庄 0495-24-8902 新潟 024-232-7522 三条 0256-34-2448 上田 0268-39-4568 愛知 052-841-9888 名古屋 052-745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-27-2621 三重 059-202-5782 滋賀 077-543-2844 京都 0774-93-3277 JCIL(京都) 075-671-8484 奈良 0745-42-2919 わかやま 0737-82-4060 伊丹 072-783-4991 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668 淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 岡山 0866-97-0206 ひろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9551 やまと 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 宇佐 0978-32-3365 ながさき 0957-46-3858 謙早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 みやざき 0985-31-4800 かごしま 0994-63-8855 沖縄 098-958-2912